

2024年3月31日（復活日、B年）

牧師メッセージ

「あの方は復活なさってここにはおられない」

（マルコによる福音書16:1-8）

司祭ヨセフ太田信三

神の子、イエス・キリストは十字架につけられ、無力なまま死んでしまいました。すべては終わった。誰もがそう思ったことでしょう。遺体は引き取られ、墓に葬られました。墓の入り口は大きな丸い石で塞がれました。

イエスの死を遠くから見守っていた婦人たちは、すぐにでもイエスのご遺体の近くに行きたかったのでしょう。安息日の翌日、日の出を待ってすぐ、墓の入り口の大きな石を誰かが動かしてくれないかと心配しながらも墓へ向かいました。しかしなんとということでしょう。墓に行ってみると入口の大きな石が転がされているではありませんか。しかし、彼女たちがさらに驚いたのは、墓に座っている若者を見たときです。ひどく驚く彼女たちに白く長い衣をまとった若者は言いました。「驚くことはない。」誰が驚かずにいられるでしょうか。しかし、若者は続けます。

「あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを探しているが、あの方は復活なさってここにはおられない。」

ここに、神によって現実がまったく変えられたことが宣言されました。死は終わりではなかった。絶望に囚われていた婦人たちの喜びはどれほどだったことでしょう。十字架という最悪の出来事の先に、最高の喜びが用意されていたのです。そしてこれこそ、イエスを通して神がわたしたちに示された究極の救いです。神は絶望の先に必ず喜びを用意して下さっている。最悪の先に必ず希望がある。このことをこそ、神は主イエスのご復活を通して示し、約束さしてくださったのです。白い衣を着た若者はさらに言いました。

「さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなた方より先にガリラヤへ行かれる。かねて言われていた通り、そこでお目にかかれる。』」

若者はペトロだけを名指しました。あのイエスを裏切った、弟子の代表であったペトロ。このペトロが名指されたのは、ご復活のイエスは、裏切った弟子たちとの関わりを断つどころか、彼らを赦し、なおも関わりを求められているからに他なりません。なんという恵みでしょうか。ご復活の出来事とは、神の絶対的な赦しをもわたしたちに約束してくださった出来事なのです。わたしたちが神から離れ最悪の状況へと迷い込もうとも、神はわたしたちのことを必ず赦し、神とともにある命へと招いてくださる。そしてその先に用意されている喜びへと導いてくださる。これが、ご復活によって約束されたことです。わたしたちが絶対に赦されること、絶望の先に希望が用意されていることが約束された出来事、主イエスのご復活を心から祝いましょう！キリスト復活！実に復活！